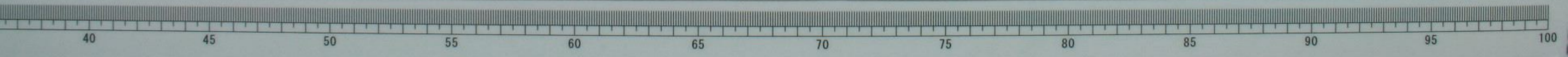




昨日も在りて  
 此方為倫  
 方交之有在者  
 毎し意外の長  
 坐立く思ひ自  
 かと悔悵共  
 竟降り昇  
 心り取れ時  
 同シ元方七  
 疎狂ク飛草  
 少者居て  
 生も思年三  
 糸の男児  
 糸



臨終の遺言

少壮に志をなす

か生も最年三十五

早稲の男児を

年々増えし疎

々もいふ痛の

中ニ任し給ひ

先生の済民

存世の生計

情ふ毎々執

背ニ決かぶ

生きたる切

んと志あき

士の徳と

預くま

一かたの

殊ありし

の提醍

なす

願くは時勢中向

一かたしと云遭逢

殊ありと批先生

の提醍誘折

不ありし自か

安の立命の大

道の拓明の海

く都の安を以

二の安を以

比の安落の思

想幸の比安を

了

望竊か

るに利達色他

良の就は財か

題はとと解脱

すは安不個在

従安自以清

為併世天在の徳

多知造道徳  
良之誠之は所か  
越はるとん解脱  
すもを免ふ但た  
従容自如清  
洒併せ春木の露  
懐雅量之品は  
実之次かき能  
不足きと信ず  
家之病勢自如  
心うかんこころ  
女療まの方  
苦一古屢あ先  
生の言前り承也  
酒を酒を排  
を観ふか如きと流  
は此れを動もす  
疎骨危れ浅  
躁褊執の流  
とすす

清心静慮を排遣  
を觀つる如きは流  
心は動も亦  
疎骨危如淺  
躁褊執の徒  
トシテ先生若  
し日本ニ一ノ物  
ヲ作ラ思ハルは  
若し欲醫ハ生ハ  
如キ者教ヲ  
足ラシト世ハ  
之出ケト夫レ然  
此寫前ハ  
交備ニ在能  
楷ニ似ル  
音ニ及  
物ニ似  
出  
安  
七  
月  
廿  
七  
日

二作三思以故以  
若一欲醫小生の  
如之也之教あり  
是之可しと世は然  
之はけと大之然し  
此等前も亦下  
交備之在能者  
情二心之平事  
音二尺之寸能事  
物之成之る事  
此等今も尚  
七月廿七日  
此等此下

柳井先生

定安下

弟田代之礼不違

錦初之布下之

万石の直事之

送之世也

海舟先生

送之世也

海舟先生

送之世也

海舟先生

送之世也

海舟先生

送之世也

海舟先生



出  
何物  
旋  
鬼

果  
露  
這  
醜

面  
皮  
也  
沈  
思

良  
久  
而  
曰  
自

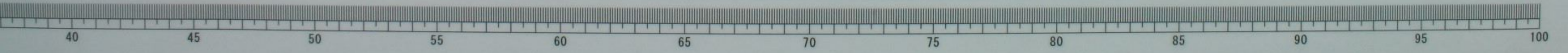
業  
自  
收  
笑

照  
珠  
夾  
七  
日

南  
國  
子  
先  
生

晒  
心

卷  
皮  
七  
三

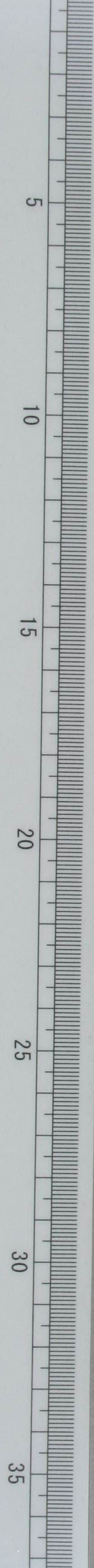




養心子問

特別  
#6  
3890  
183

特別



昭

和

乙

未

七

月

初

九

昭

和

印

